

施工状況等報告書

平成 30 年 1 月 31 日

長野県知事 阿部 守一 様

佐久市長 柳田 清二 様
小諸市長 小泉 俊博 様
御代田町長 茂木 祐司 様
軽井沢町長 藤巻 進 様

所在地 長野県佐久市中込 3056 番地佐久市役所内
名称 佐久市・北佐久郡環境施設組合
組合長 柳田 清二

長野県環境影響評価条例第 32 条第 1 項の規定により、下記のとおり送付します

記

対象事業の名称	新クリーンセンター建設事業
報告対象期間	平成 29 年 10 月 1 日から 平成 29 年 12 月 31 日まで
環境の保全のための措置	詳細は別紙添付資料のとおり
対象事業の実施状況	敷地造成工事はテールアルメ擁壁が完成し、わずかな排水 路工事を残すのみとなった。 施設本体建設工事は実施設計協議を継続中。 平成 29 年 12 月 8 日に建築確認の申請を行った。

(備考) 必要に応じ、環境の保全のための措置の状況又は対象事業の実施状況に係る図面又は写真を添付すること。

施工状況等報告書添付資料「環境保全措置実施状況一覧表」

期間:平成29年10月1日～平成29年12月31日

環境影響 評価項目	保 全 対象種	措置 項目	措置内容	添付書類		
植 物	ヤ エ ガ ワ カ ン バ	成 木 の 移 植	10月17日に移植個体の状況確認（樹木活力度調査）。 黄葉、落葉が始まる。	写真ヤエー1		
			11月14日に移植個体の状況確認（樹木活力度調査）。 落葉、果穂（種子）があり、来年の花穂（雄花序）が出ている。	写真ヤエー2		
			12月8日に移植個体の状況確認（樹木活力度調査）。 落葉、果穂（種子）、花穂（雄花序）あり。地上に落ちていた果穂（種子）を今後の播種用に採取した。	写真ヤエー3		
		種 子 保 存 及 び 播 種 ・ 育 苗	ヤ エ ガ ワ カ ン バ	10月17日に播種個体の育苗状況確認。 1)平成27年4月23日播種個体の育苗状況確認 ポットの幼木6個体は樹高が17.0～30.0cm、根元直径4～10mmで、枯死している②と⑥を除き、落葉中もしくは落葉し、冬芽を形成した。 2)平成28年4月18日播種個体の育苗状況確認 ポットへ植え替えた幼木2個体は樹高が共に12.0cm、根元直径3～4mmで落葉中である。 3)平成29年4月21日播種個体の育苗状況確認 プランターから発芽した1個体は樹高8.0cm、根元直径2mmで落葉中である。床蒔きの発芽は確認できない。	写真ヤエー 4, 5, 6, 7	
					11月14日に播種個体の育苗状況確認。 1)平成27年4月23日播種個体の育苗状況確認 ポットの幼木6個体は樹高が17.0～30.0cm、根元直径4～10mmで、枯死している②と⑥を除き、落葉し、冬芽を形成した。 2)平成28年4月18日播種個体の育苗状況確認 ポットへ植え替えた幼木2個体は樹高が共に12.0cm、根元直径3～4mmで、落葉し、冬芽形成。 3)平成29年4月21日播種個体の育苗状況確認 プランターから発芽した1個体は樹高8.0cm、根元直径3mmで落葉中。床蒔きの発芽は確認できない。	写真ヤエー 8, 9, 10, 11
						12月8日に播種個体の育苗状況確認。 1)平成27年4月23日播種個体の育苗状況確認 ポットの幼木6個体は樹高が17.0～30.0cm、根元直径4～10mmで、枯死した②と⑥を除き、落葉し、冬芽を形成。 2)平成28年4月18日播種個体の育苗状況確認 ポットへ植え替えた幼木2個体は樹高が共に12.0cm、根元直径3～4mmで、落葉し、冬芽形成。 3)平成29年4月21日播種個体の育苗状況確認 プランターから発芽した1個体は樹高8.0cm、根元直径3mmで落葉。床蒔きの発芽は確認できない。

環境影響 評価項目	保 全 対象種	措置 項目	措置内容	添付書類	
植 物	オニヒョウタンボク	成木の移植	10月17日に移植個体の状況確認（樹木活力度調査）。 全ての個体で落葉が進み、冬芽の形成が見られる。	写真オニ-1	
			11月14日に移植個体の状況確認（樹木活力度調査）。 全ての個体で落葉し、冬芽形成。	写真オニ-2	
			12月8日に移植個体の状況確認（樹木活力度調査）。 全ての個体で落葉し、冬芽形成。 平成28年6月に主幹が折れたNo. 8は、以降のモニタリングで異常は確認されず順調に生育している。	写真オニ-3	
		挿し木及び 生育管理	10月17日に挿し木個体の育苗状況確認。 1) 平成28年3月30日挿し木個体の育苗状況確認 挿し木10本は全て枯死した。 2) 平成29年3月14日挿し木個体の育苗状況確認（発根促進剤使用） 挿し木20本の内、生育している13本全てが落葉して冬芽を形成（前月より増減なし）。	写真オニ-4	
			11月14日に挿し木個体の育苗状況確認。 1) 平成28年3月30日挿し木個体の育苗状況確認 挿し木10本は全て枯死した。 2) 平成29年3月14日挿し木個体の育苗状況確認（発根促進剤使用） 挿し木20本の内、生育している13本全てが落葉して冬芽形成（前月より増減なし）。	写真オニ-5	
			11月17日に挿し木個体の育苗状況確認。 1) 平成29年3月14日挿し木個体の移植 挿し木20本の内、生育している13本をプランターからポットへ移植した。	写真オニ-6	
			12月8日に挿し木個体の育苗状況確認。 1) 平成28年3月30日挿し木個体の育苗状況確認 挿し木10本は全て枯死した。 2) 平成29年3月14日挿し木個体の育苗状況確認（発根促進剤使用） 挿し木20本の内、生育している13本全てが落葉して冬芽形成（前月より増減なし）。	写真オニ-7	
			種子保存及び 播種・育苗	10月17日に播種個体の育苗状況確認。 1) 平成27年7月15日播種個体の育苗状況確認 1個体は枯死、残り1個体は樹高は5.0cm（冬芽形成）、根元直径は4mm。床蒔きには発芽は見られない。 2) 平成28年7月6日播種個体の育苗状況確認 プランターの播種個体に芽生えは見られない。 3) 平成29年6月29日播種個体の育苗状況確認 プランターから2個体の発芽（双葉）を確認したが、床蒔きの播種個体に発芽は見られない。	写真オニ-8, 9, 10
				11月14日に播種個体の育苗状況確認。 1) 平成27年7月15日播種個体の育苗状況確認 1個体は枯死、残り1個体は樹高は5.0cm（冬芽形成）、根元直径は4mm。床蒔きには発芽は見られない。 2) 平成28年7月6日播種個体の育苗状況確認 プランターの播種個体に芽生えは見られない。 3) 平成29年6月29日播種個体の育苗状況確認 プランターから3個体の発芽（双葉）を確認（前月より1個体増）、床蒔きの播種個体に発芽は見られない。	写真オニ-11, 12, 13
				12月8日に播種個体の育苗状況確認。 1) 平成27年7月15日播種個体の育苗状況確認 1個体は枯死、残り1個体は樹高は5.0cm、根元直径は4mmで冬芽形成。床蒔きには発芽は見られない。 2) 平成28年7月6日播種個体の育苗状況確認 プランターの播種個体に発芽は見られない。 3) 平成29年6月29日播種個体の育苗状況確認 プランターから発芽した3個体（双葉）のうち、1個体が弱っている。床蒔きの播種個体に発芽は見られない。	写真オニ-14, 15, 16

環境影響 評価項目	保全 対象種	措置 項目	措置内容	添付書類
植物	キク タニギク	(個体の保全 追加項目)	10月17日にキクタニギクの自生地（改変区域外）の状況確認。 旺盛に開花しており、生育状況に異常は見られない。	写真キク-1
動物	ベニ モン マダ ラ	生息 基盤 (クサ フジ) の移 植	10月17日に播種個体の状況確認。 1) 平成28年12月5日のクサフジ播種個体の生育状況確認 発芽促進のため種子にやすりをかけて播種した20ポットから5 個体(増減無し)、やすりをかけずに播種した20ポットから2個体 (増減無し)の発芽。 2) 平成29年4月12日のクサフジ播種個体の生育状況確認 発芽促進のため種子にやすりをかけて播種した10ポットからは 発芽は見られない。やすりをかけずに播種した10ポットから発芽 した1個体は葉が無く、枯死した可能性がある。	写真ベニ-1, 2
			11月14日に平尾用水法面におけるクサフジの状況調査及び播種。 1) 平尾用水法面のクサフジ植被状況調査 平尾用水へ播種または移植したクサフジがある程度繁茂してき たため、植被状況を記録（模式図作成）し、今後、クサフジの植 皮状況と、ベニモンマダラの発生状況について経年変化の把握に 努める。計測したクサフジの植被面積は約7.76m ² であった。ま た、繁茂して比較的大きな株に生育している個体も見られる。 2) 平尾用水法面へのクサフジの移植 平成28年12月5日に播種した40ポットから、生存している7個体 および枯死した可能性のある1個体、並びに、平成29年4月12日 に播種した20ポットから、枯死した可能性のある1個体、計9個体を 平尾用水の法面へ移植した。	写真ベニ-3, 4, 5
			11月17日にクサフジの播種。 事業実施区域のクサフジ自生地から平成29年9月8日に採取した クサフジの種子をポットに播種した（20ポット）。播種に際して は、これまで発芽促進のためにやすりをかけた種子とやすりをか けなかった種子を播種したが、発芽率に差は見られなかったた め、今回はすべてやすりをかけずに播種した。	写真ベニ-6
			12月8日にクサフジ移植個体、播種個体の状況確認。 1) 平成29年11月17日クサフジ移植個体(平尾用水法面)の生育状況 確認 休眠期に入りクサフジの地上部は枯れていた。 2) 平成29年11月17日クサフジ播種個体の生育状況確認 発芽は見られない。	写真ベニ-7, 8, 9

環境影響 評価項目	保 全 対象種	措置 項目	措置内容	添付書類
大気質	沿道大気質	事後調査	<p>9月29日～10月5日に工事車両の走行に伴う大気質への影響を把握するための事後調査を実施。</p> <p>【調査地点D：一般県道156 草越豊昇佐久線】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二酸化窒素 日平均値：0.004ppm、日平均値の最高値：0.006ppm (環境保全のための目標(環境基準)：1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmのゾーン内又はそれ以下を満足している。) ・浮遊粒子状物質 日平均値：0.011mg/m³、日平均値の最高値：0.024mg/m³ (環境保全のための目標(環境基準)：1時間値の1日平均値が0.10mg/m³以下を満足している。) 	タイ-1, 2, 3
水質	河川水質	事後調査	<p>10月24日に土地造成、掘削工事に伴い発生する濁水による河川水質への影響を把握するための事後調査を実施。</p> <p>【調査地点①：沈砂池からの流出箇所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浮遊物質量(SS)：66mg/L (環境保全のための目標：現況(アセス時現地調査時)の水質より悪化させないこと(100mg/L程度)を満足している) ・濁度：56度 <p>【調査地点②：湯川合流点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浮遊物質量(SS)：67mg/L (環境保全のための目標：現況(アセス時現地調査時)の水質より悪化させないこと(100mg/L程度)を満足している) ・濁度：82度 	スイ-1, 2, 3, 4
大気質			・工事用車両出入口の路面洗浄	p. 28～29
騒音			・対策型建設機械の使用	p. 30～31

環境保全措置実施状況写真

	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-1
	撮影日	H29.10.17
	移植個体の状況確認 (樹木活力度調査) 黄葉、落葉が始まる。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-2
	撮影日	H29.11.14
	移植個体の状況確認 (樹木活力度調査) 落葉、果穂(種子)があり、来 年の花穂(雄花序)が出てい る。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-3
	撮影日	H29.12.8
	移植個体の状況確認 (樹木活力度調査) 落葉、果穂(種子)、花穂(雄 花序)あり。	

環境保全措置実施状況写真

	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-4
	撮影日	H29.10.17
	平成27年4月23日播種個体の 育苗状況確認 ①樹高17.0cm、根元直径 4mm(一部枯れる。) ②枯死(平成28年8月確認) ③樹高24.5cm、根元直径6mm ④樹高24.0cm、根元直径4mm ⑤樹高30.0cm、根元直径 10mm ⑥枯死(平成29年5月確認)	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-5
	撮影日	H29.10.17
	平成28年4月18日播種個体の 育苗状況確認 ①樹高12.0cm、根元直径4mm ②樹高12.0cm、根元直径3mm	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-6
	撮影日	H29.10.17
	平成29年4月21日播種個体の 育苗状況確認 (プランター) 1個体の発芽確認。 樹高8.0cm、根元直径2mm	

環境保全措置実施状況写真

	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-7
	撮影日	H29.10.17
	平成29年4月21日播種個体の 育苗状況確認 (床蒔き) まだ発芽は確認できない。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-8
	撮影日	H29.11.14
	平成27年4月23日播種個体の 育苗状況確認 ①樹高17.0cm、根元直径4mm ②枯死(平成28年8月確認) ③樹高24.5cm、根元直径6mm ④樹高24.0cm、根元直径4mm ⑤樹高30.0cm、根元直径 10mm ⑥枯死(平成29年5月確認)	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-9
	撮影日	H29.11.14
	平成28年4月18日播種個体の 育苗状況確認 ①樹高12.0cm、根元直径4mm ②樹高12.0cm、根元直径3mm	

環境保全措置実施状況写真

	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-10
	撮影日	H29.11.14
	平成29年4月21日播種個体の 育苗状況確認 (プランター) 1個体が生育 樹高8.0cm、根元直径3mm 落葉中。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-11
	撮影日	H29.11.14
	平成29年4月21日播種個体の 育苗状況確認 (床蒔き) まだ発芽は確認できない。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-12
	撮影日	H29.12.8
	平成27年4月23日播種個体の 育苗状況確認 ①樹高17.0cm、根元直径4mm ②枯死(平成28年8月確認) ③樹高樹高24.5cm、元直径 6mm ④樹高24.0cm、根元直径4mm ⑤樹高30.0cm、根元直径 10mm ⑥枯死(平成29年5月確認)	



環境保全措置実施状況写真

	保全対象種	ヤエガワカンバ
	写真番号	ヤエ-13
撮影日	H29.12.8	
平成28年4月18日播種個体の育苗状況確認		
①樹高12.0cm、根元直径4mm		
②樹高12.0cm、根元直径3mm		
落葉し、冬芽形成。		
	保全対象種	ヤエガワカンバ
	写真番号	ヤエ-14
撮影日	H29.12.8	
平成29年4月21日播種個体の育苗状況確認 (プランター)		
1個体が生育 樹高8.0cm、根元直径3mm		
	保全対象種	ヤエガワカンバ
	写真番号	ヤエ-15
撮影日	H29.12.8	
平成29年4月21日播種個体の育苗状況確認 (床蒔き)		
まだ発芽は確認できない。		

環境保全措置実施状況写真

	保 全 対象種	オニヒヨウタンボク
	写 真 番 号	オニ-1
	撮影日	H29.10.17
	移植個体の状況確認 (樹木活力度調査) 全ての個体で落葉が進み、冬芽の形成が見られる。 (写真はNo.1個体)	
	保 全 対象種	オニヒヨウタンボク
	写 真 番 号	オニ-2
	撮影日	H29.11.14
	移植個体の状況確認 (樹木活力度調査) 全ての個体で落葉し、冬芽の形成が見られる。 (写真はNo.1個体)	
	保 全 対象種	オニヒヨウタンボク
	写 真 番 号	オニ-3
	撮影日	H29.12.8
	移植個体の状況確認 (樹木活力度調査) 全ての個体で落葉し、冬芽形成。	

環境保全措置実施状況写真

	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-4
	撮影日	H29.10.17
	平成29年3月14日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用) 挿し木20本の内、生育している13本全てが落葉して冬芽形成(前月より増減なし)。	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-5
	撮影日	H29.11.14
	平成29年3月14日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用) 挿し木20本の内、生育している13本全てが落葉して冬芽形成。(前月より増減なし)。	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-6
	撮影日	H29.11.17
	平成29年3月14日挿し木個体の移植 挿し木20本の内、生育している13本をプランターからポットへ移植した。	

環境保全措置実施状況写真

	<table border="1"> <tr> <td>保 全 対象種</td> <td>オニヒョウタンボク</td> </tr> <tr> <td>写 真 番 号</td> <td>オニ-7</td> </tr> <tr> <td>撮影日</td> <td>H29.12.8</td> </tr> <tr> <td colspan="2">平成29年3月14日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">挿し木20本の内、生育している13本全てが落葉して冬芽形成。</td> </tr> </table>	保 全 対象種	オニヒョウタンボク	写 真 番 号	オニ-7	撮影日	H29.12.8	平成29年3月14日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用)		挿し木20本の内、生育している13本全てが落葉して冬芽形成。	
保 全 対象種	オニヒョウタンボク										
写 真 番 号	オニ-7										
撮影日	H29.12.8										
平成29年3月14日挿し木個体の育苗状況確認(発根促進剤使用)											
挿し木20本の内、生育している13本全てが落葉して冬芽形成。											
	<table border="1"> <tr> <td>保 全 対象種</td> <td>オニヒョウタンボク</td> </tr> <tr> <td>写 真 番 号</td> <td>オニ-8</td> </tr> <tr> <td>撮影日</td> <td>H29.10.17</td> </tr> <tr> <td colspan="2">平成27年7月15日播種個体の育苗状況確認</td> </tr> <tr> <td colspan="2">①樹高5.0cm、根元直径4mm ②枯死</td> </tr> </table>	保 全 対象種	オニヒョウタンボク	写 真 番 号	オニ-8	撮影日	H29.10.17	平成27年7月15日播種個体の育苗状況確認		①樹高5.0cm、根元直径4mm ②枯死	
保 全 対象種	オニヒョウタンボク										
写 真 番 号	オニ-8										
撮影日	H29.10.17										
平成27年7月15日播種個体の育苗状況確認											
①樹高5.0cm、根元直径4mm ②枯死											
	<table border="1"> <tr> <td>保 全 対象種</td> <td>オニヒョウタンボク</td> </tr> <tr> <td>写 真 番 号</td> <td>オニ-9</td> </tr> <tr> <td>撮影日</td> <td>H29.10.17</td> </tr> <tr> <td colspan="2">平成28年7月6日播種個体の育苗状況確認</td> </tr> <tr> <td colspan="2">芽生えは見られない。</td> </tr> </table>	保 全 対象種	オニヒョウタンボク	写 真 番 号	オニ-9	撮影日	H29.10.17	平成28年7月6日播種個体の育苗状況確認		芽生えは見られない。	
保 全 対象種	オニヒョウタンボク										
写 真 番 号	オニ-9										
撮影日	H29.10.17										
平成28年7月6日播種個体の育苗状況確認											
芽生えは見られない。											

環境保全措置実施状況写真

	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-10
	撮影日	H29.10.17
	平成29年6月29日播種個体の 育苗状況確認 プランターから2個体の発芽 (双葉)を確認した。 なお、床蒔きの播種個体に発 芽は見られない。	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-11
	撮影日	H29.11.14
	平成27年7月15日播種個体の 育苗状況確認 ①樹高5.0cm、根元直径4mm ②枯死	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-12
	撮影日	H29.11.14
	平成28年7月6日播種個体の 育苗状況確認 芽生えは見られない。	

環境保全措置実施状況写真

	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-13
	撮影日	H29.11.14
	<p>平成29年6月29日播種個体の育苗状況確認</p> <p>プランターから3個体の発芽(双葉)を確認した(前月より1個体増)。</p> <p>なお、床蒔きの播種個体に発芽は見られない。</p>	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-14
	撮影日	H29.12.8
	<p>平成27年7月15日播種個体の育苗状況確認</p> <p>①樹高5.0cm、根元直径4mm ②枯死</p>	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-15
	撮影日	H29.12.8
	<p>平成28年7月6日播種個体の育苗状況確認</p> <p>芽生えは見られない。</p>	

環境保全措置実施状況写真

	保 全 対象種	オニヒヨウタンボク
	写 真 番 号	オニ-16
	撮影日	H29.12.8
	<p>平成29年6月29日播種個体の 育苗状況確認</p> <p>3個体(双葉)であるが、No.1 は弱っている。 (プランターからポットへ移し替 えを行った。)</p> <p>なお、床蒔きの播種個体に発 芽は見られない。</p>	

環境保全措置実施状況写真

	保全対象種	キクタニギク
	写真番号	キク-1
	撮影日	H29.10.17
	対象事業実施区域外のキクタニギク自生地。 旺盛に開花しており、生育状況に異常は見られない。	

環境保全措置実施状況写真

	保 全 対象種	ベニモンマダラ
	写 真 番 号	ベニ-1
	撮影日	H29.10.17
	<p>平成28年12月5日クサフジ播種個体の生育状況確認</p> <p>発芽促進のため種子にやすりをかけて播種した20ポット(白いポット)から5個体(増減無し)、やすりをかけずに播種した20ポット(黒いポット)から2個体(前月より増減無し)の発芽。</p>	
	保 全 対象種	ベニモンマダラ
	写 真 番 号	ベニ-2
	撮影日	H29.10.17
	<p>平成29年4月12日のクサフジ播種個体の生育状況確認</p> <p>発芽促進のため種子にやすりをかけて播種した10ポット(白いポット)からは発芽は見られない。やすりをかけずに播種した10ポット(黒いポット)から発芽した1個体は葉が無く、枯死した可能性がある。</p>	
	保 全 対象種	ベニモンマダラ
	写 真 番 号	ベニ-3
	撮影日	H29.11.14
	<p>平尾用水法面のクサフジ植被状況調査。</p> <p>平尾用水へ播種または移植したクサフジの植被状況を記録(模式図作成)した。 植被面積は約7.76m²であった。</p>	




環境保全措置実施状況写真

	保 全 対象種	ベニモンマダラ
	写 真 番 号	ベニ-4
	撮影日	H29.11.14
	<p>平尾用水法面のクサフジ植被状況調査。</p> <p>繁茂して比較的大きな株に生育している個体も見られる。</p>	
	保 全 対象種	ベニモンマダラ
	写 真 番 号	ベニ-5
	撮影日	H29.11.14
	<p>平尾用水法面へのクサフジの移植。</p> <p>平成28年12月5日に播種した40ポットから8個体、並びに、平成29年4月12日に播種した20ポットから1個体、計9個体を平尾用水の法面へ移植した。</p> <p>写真は移植個体。</p>	
	保 全 対象種	ベニモンマダラ
	写 真 番 号	ベニ-6
	撮影日	H29.11.17
	<p>クサフジの播種。</p> <p>事業実施区域のクサフジ自生地から平成29年9月8日に採取したクサフジの種子をやすりをかけずにポットに播種した(20ポット)。</p>	

環境保全措置実施状況写真

	保 全 対象種	ベニモンマダラ
	写 真 番 号	ベニ-7
	撮影日	H29.12.8
	11月17日に平尾用水へ移植したクサフジの状況確認 移植地の状況	
	保 全 対象種	ベニモンマダラ
	写 真 番 号	ベニ-8
	撮影日	H29.12.8
	11月17日に平尾用水へ移植したクサフジの状況確認 休眠期に入り地上部は枯れていた。	
	保 全 対象種	ベニモンマダラ
	写 真 番 号	ベニ-9
	撮影日	H29.12.8
	平成29年11月17日のクサフジ播種個体の生育状況確認 発芽は見られない。	

環境保全措置実施状況写真

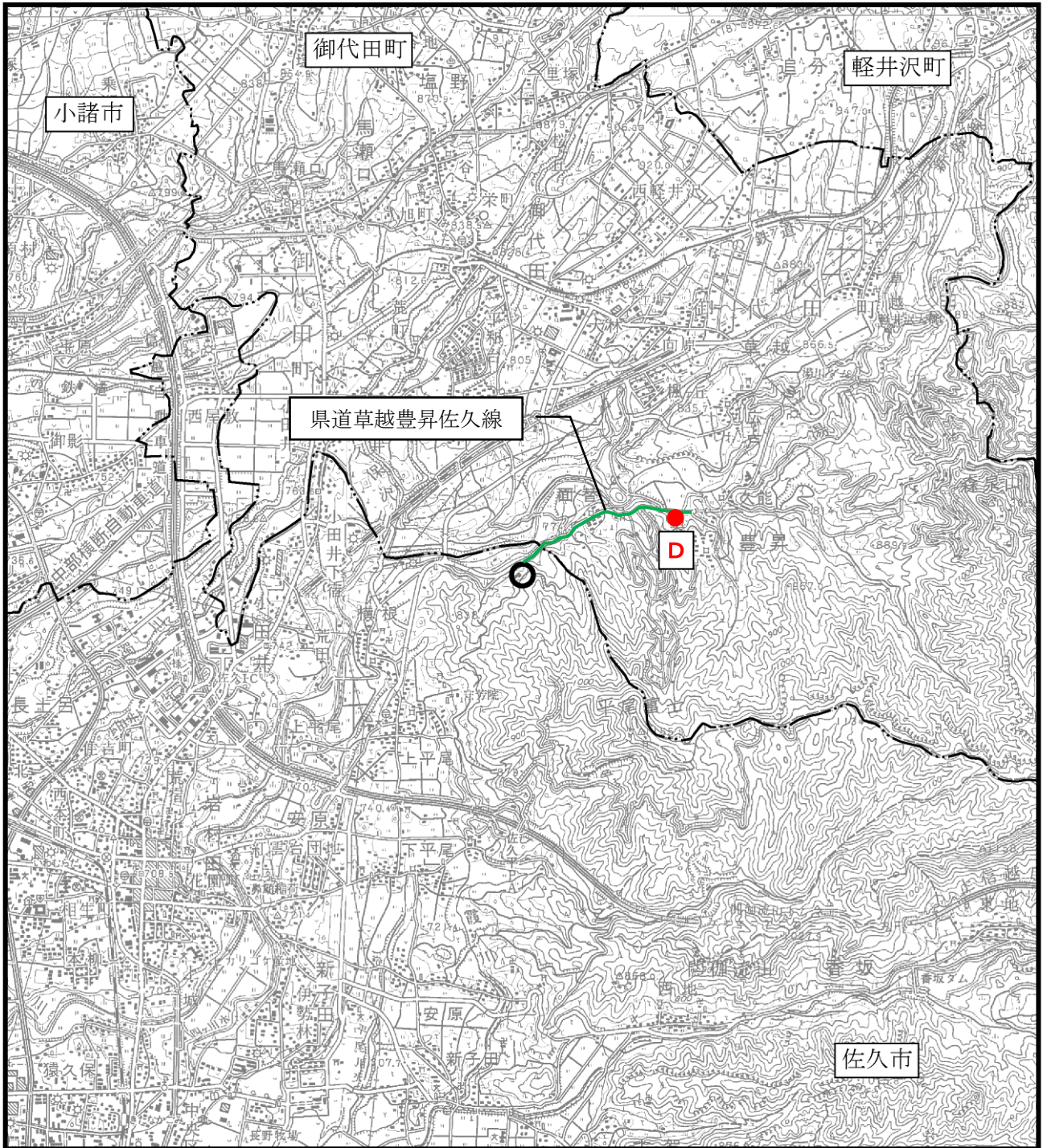
 <p>件名 平成27年度新クリーンセンター 環境影響評価事後調査業務</p> <p>内容 大気質調査</p> <p>調査地点 豊昇地区沿道</p> <p>調査年月日 平成29年9月29日～10月5日</p> <p>受託者 国際航業株式会社</p>	保 全 対象種	大気質
	写 真 番 号	タイ-1
	撮影日	H29.9.28
	大気質調査 器機設置環境 (測定日:9月29日～10月5日)	
 <p>件名 平成27年度新クリーンセンター 環境影響評価事後調査業務</p> <p>内容 大気質調査</p> <p>調査地点 豊昇地区沿道</p> <p>調査年月日 平成29年9月29日～10月5日</p> <p>受託者 国際航業株式会社</p>	保 全 対象種	大気質
	写 真 番 号	タイ-2
	撮影日	H29.9.28
	大気質調査 器機設置状況(測定中) (測定日:9月29日～10月5日)	
 <p>件名 平成27年度新クリーンセンター 環境影響評価事後調査業務</p> <p>内容 大気質調査</p> <p>調査地点 豊昇地区沿道</p> <p>調査年月日 平成29年9月29日～10月5日</p> <p>受託者 国際航業株式会社</p>	保 全 対象種	大気質
	写 真 番 号	タイ-3
	撮影日	H29.9.28
	大気質調査 器機設置状況(測定中) (測定日:9月29日～10月5日)	

環境保全措置実施状況写真

	保全対象種	水質
	写真番号	スイ-1
	撮影日	H29.10.24
	水質調査(降雨時) 調査地点① 地点の状況	
	保全対象種	水質
	写真番号	スイ-2
	撮影日	H29.10.24
	水質調査(降雨時) 調査地点① 採水したサンプル	
	保全対象種	水質
	写真番号	スイ-3
	撮影日	H29.10.24
	水質調査(降雨時) 調査地点② 地点の状況	

環境保全措置実施状況写真

	保 全 対象種	水質調査
	写 真 番 号	スイ-4
	撮影日	H29.10.24
	水質調査(降雨時) 調査地点② 採水したサンプル	



凡 例

- : 対象事業実施区域
- : 調査地点

--- : 市長界

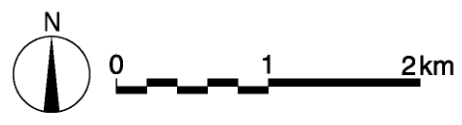
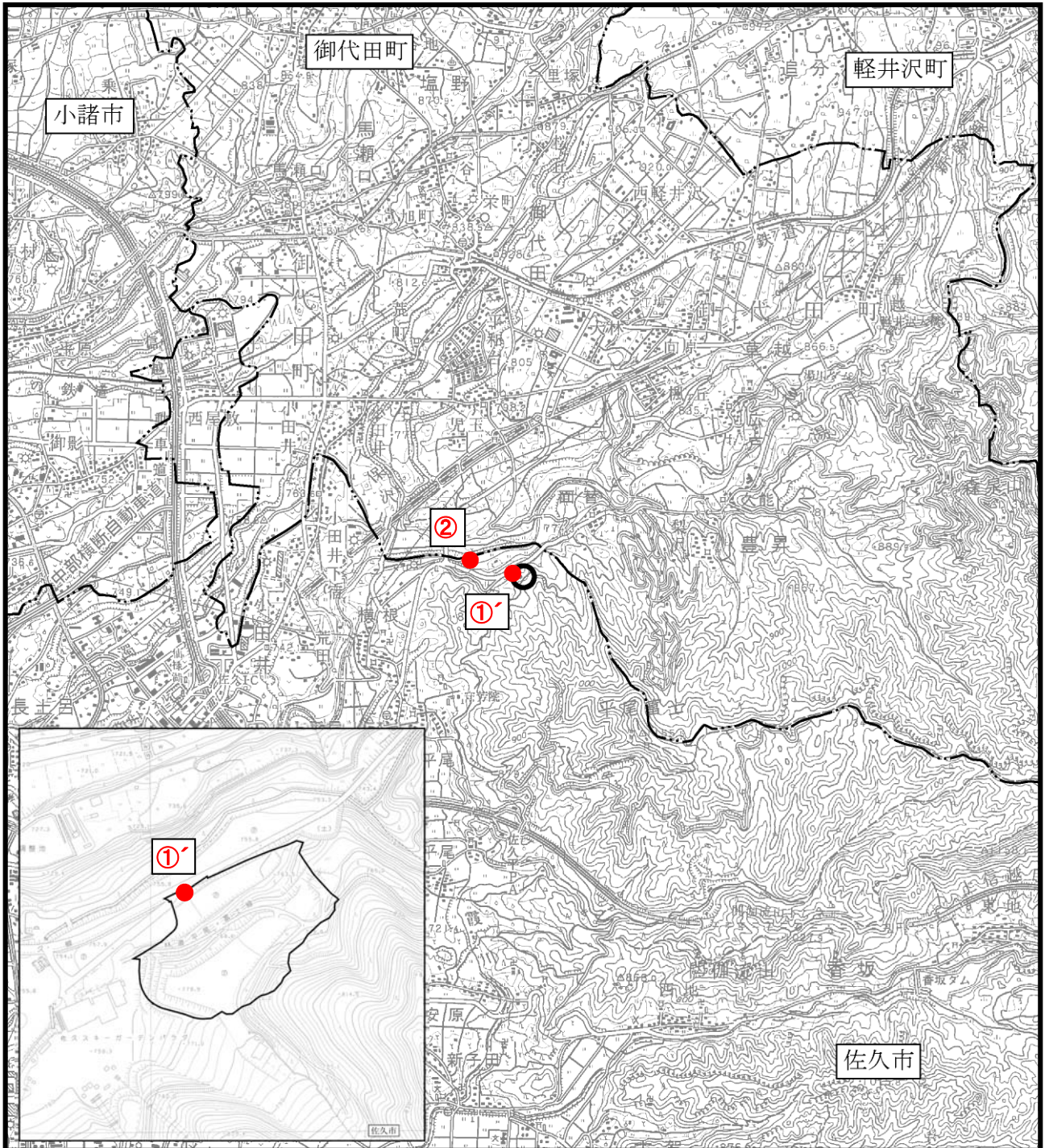


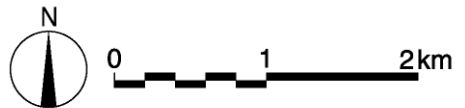
図 大気質調査地点



凡 例

- : 対象事業実施区域
- : 調査地点
- ① : 沈砂池からの放出箇所
- ② : 湯川合流点

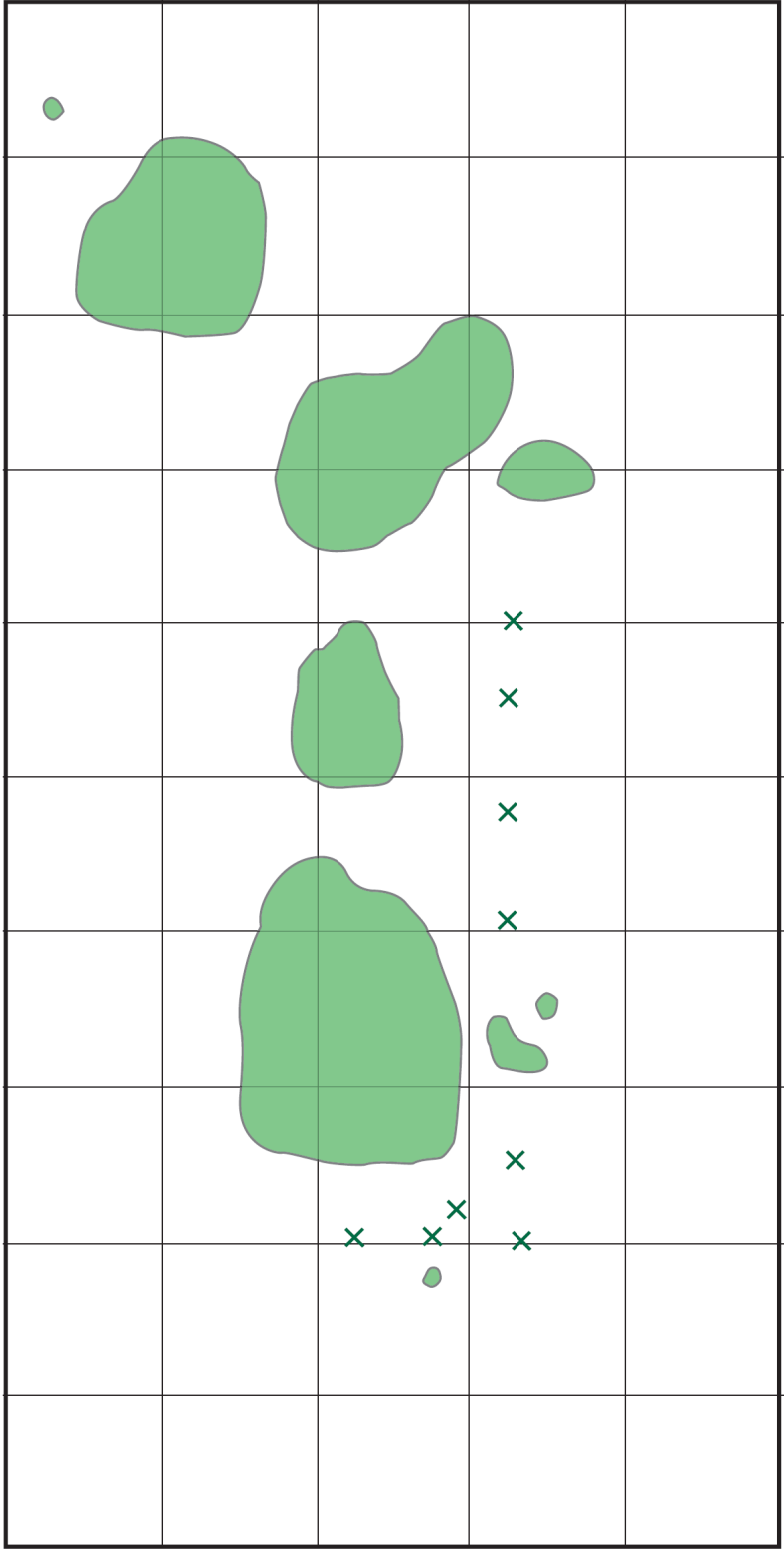
— · — : 市長界



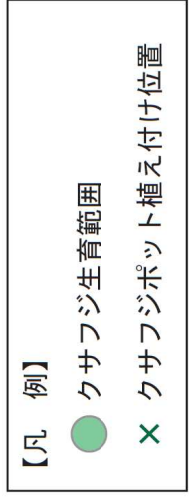
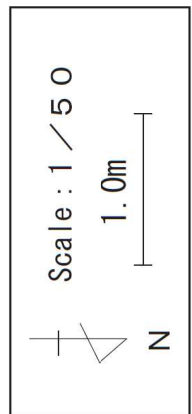
評価書の事後調査計画では、沈砂池からの放流水を把握する地点として「地点 : 調整池付近」となっているが、暗渠となっており、安全性が確保できない。

そのため、調査地点を沈砂池からの流出箇所として①に変更した。

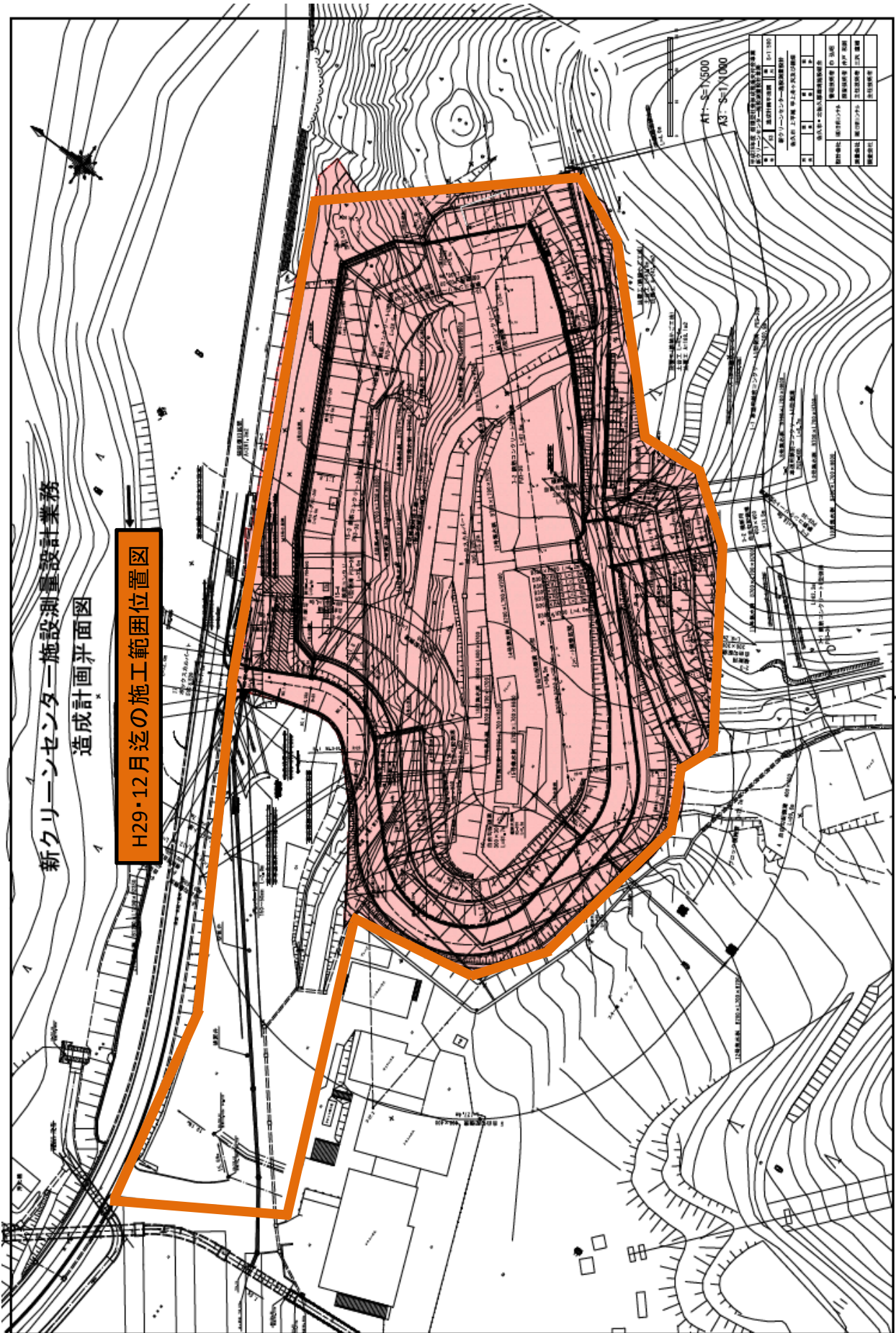
図 水質調査地点

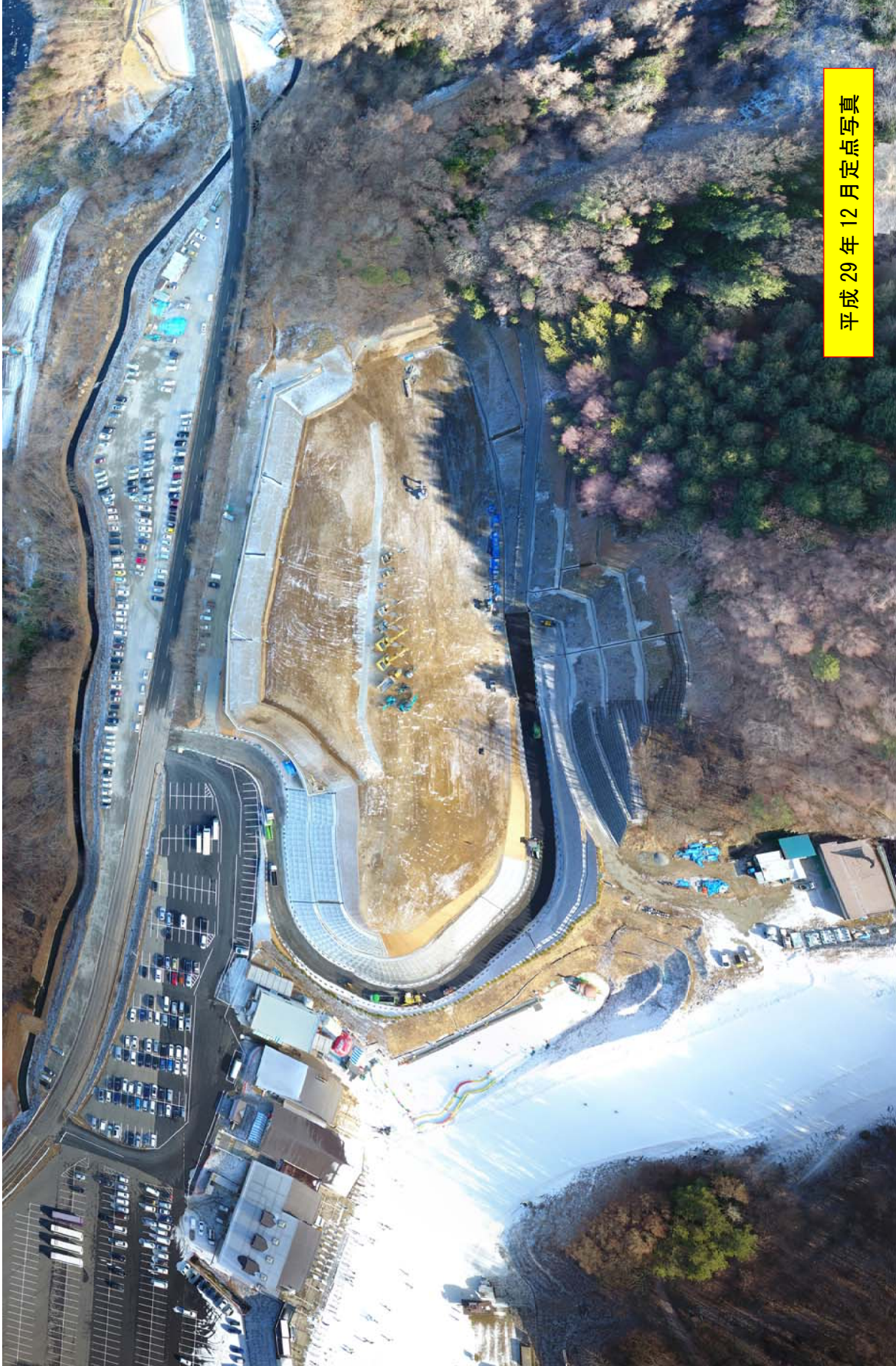


平尾用水→



平尾用水左岸クサフジ移植地におけるクサフジの生育状況





平成 29 年 12 月 定点写真



写真区分:環境対策
工種:環境コンサル(6)
種別:工事用車両出入口の路面洗淨
写真タイトル:路面散水状況
撮影箇所:現場出入口道路



写真区分:環境対策
工種:環境コンサル(6)
種別:工事用車両出入口の路面洗淨
写真タイトル:路面散水状況
撮影箇所:現場出入口道路



写真区分:環境対策
工種:環境コンサル(6)
種別:工事用車両出入口の路面洗淨
写真タイトル:人力清掃状況
撮影箇所:現場出入口道路



写真区分:環境対策
工種:環境コンサル(6)
種別:工事用車両出入口の路面洗淨
写真タイトル:人力清掃状況
撮影箇所:現場出入口道路



写真区分:環境対策
工種:環境コンサル(6)
種別:工事用車両出入口の路面洗淨
写真タイトル:機械清掃状況
撮影箇所:現場出入口道路



写真区分:環境対策
工種:環境コンサル(6)
種別:工事用車両出入口の路面洗淨
写真タイトル:機械清掃状況
撮影箇所:現場出入口道路



写真区分:使用機械写真
 工種:バックホウ
 種別:320E
 写真タイトル:排対型・超低騒音型機械使用写真
 撮影箇所:現場にて



写真区分:使用機械写真
 工種:バックホウ
 種別:320E
 写真タイトル:排対型・超低騒音型機械使用写真
 撮影箇所:現場にて



写真区分:使用機械写真
 工種:バックホウ
 種別:320E
 写真タイトル:排対型・超低騒音型機械使用写真
 撮影箇所:現場にて



写真区分:使用機械写真
工種:バックホウ
種別:320E
写真タイトル:排対型・超低騒音型機械使用写真
撮影箇所:現場にて

平成29年度 新クリーンセンター環境影響評価事後調査(動物・植物)業務 環境保全措置および事後調査の経過一覧表
 対象種【ヤエガワカンバ】

対象期間【平成29年4月～平成29年12月】

【環境保全措置および事後調査の総括】

移植した成木については生育は概ね順調であるが、サルノコシカケ科と思われるキノコが発生して枯れている枝が見られる。播種育苗の個体については途中で枯死した個体もあるが、現在は7個体が生長している。(平成29年12月8日現在)

【措置項目】成木の移植

環境保全措置・事後調査の内容	平成29年4月	平成29年5月	平成29年6月	平成29年7月	平成29年8月	平成29年9月	平成29年10月	平成29年11月	平成29年12月	平成30年1～2月	平成30年3月
【事後調査】 平成27年4月18日に対象事業実施区域より対象事業実施区域外へ移植を行い、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
	枝先に雄花序、枝中間部(前年枝)に果穂が確認できる。展葉はまだ始まっていない。	冬芽は膨らんでいるが、展葉はまだ始まっていない。	全体的に十分に展葉が進んだが、サルノコシカケ科と思われるキノコの発生した枝には枯れ枝が目立つ。	全体的に十分に展葉が進んだが、サルノコシカケ科と思われるキノコの発生した枝には枯れ枝が目立つが、大きな変化は見られない。	全体的に十分に展葉が進んだが、サルノコシカケ科と思われるキノコの発生した枝には枯れ枝が目立つが、大きな変化は見られない。	全体的に十分に展葉が進んだが、サルノコシカケ科と思われるキノコの発生した枝には枯れ枝が目立つが、大きな変化は見られない。	黄葉、落葉が始まる。	落葉、果穂(種子)があり、来年の花穂(雄花序)が出ている。	落葉、果穂(種子)、花穂があり、地上に落ちていた果穂を採取した。12/27にキノコ発生に対する処置を検討するため、施工業者立ち会いのもと現地で行合せを実施した。		
	撮影日:4月12日	撮影日:5月2日	撮影日:6月6日	撮影日:7月11日	撮影日:8月23日	撮影日:9月8日	撮影日:10月17日	撮影日:11月14日	撮影日:12月8日		

【措置項目】種子の保存及び播種・育苗

環境保全措置・事後調査の内容	平成29年4月	平成29年5月	平成29年6月	平成29年7月	平成29年8月	平成29年9月	平成29年10月	平成29年11月	平成29年12月	平成30年1～2月	平成30年3月
【環境保全措置】 平成27年4月23日に播種し、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
	左からNo.①、③、④、⑤、⑥が生育。樹高9～22.2cm、根元直径2～6mm。No.②(左から2番目)は枯死、No.⑥(右端)は枯死した可能性がある。	左からNo.①、③、④、⑤が生育。樹高16.5～21.0cm、根元直径4～6mm。順調に展葉が始まる。No.⑥(右端)は枯死。	左からNo.①、③、④、⑤が生育。樹高17.0～25.0cm、根元直径4～6mm。順調に展葉が進んでいる。No.①(左端)の上部枝先が枯れる。	左からNo.①、③、④、⑤が生育。樹高17.0～28.5cm、根元直径4～6mm。生育は順調。	左からNo.①、③、④、⑤が生育。樹高17.0～30.0cm、根元直径4～7mm。生育は順調。	左からNo.①、③、④、⑤が生育。樹高17.0～30.0cm、根元直径4～7mm。生育は順調。	左からNo.①、③、④、⑤が生育。樹高17.0～30.0cm、根元直径4～10mm。落葉始まり、冬芽を形成。	左からNo.①、③、④、⑤が生育。樹高17.0～30.0cm、根元直径4～10mm。落葉し、冬芽形成。	左からNo.①、③、④、⑤が生育。樹高17.0～30.0cm、根元直径4～10mm。落葉し、冬芽形成。		
	撮影日:4月12日	撮影日:5月9日	撮影日:6月6日	撮影日:7月11日	撮影日:8月24日	撮影日:9月8日	撮影日:10月17日	撮影日:11月14日	撮影日:12月8日		










【措置項目】種子の保存及び播種・育苗

環境保全措置・事後調査の内容	平成29年4月	平成29年5月	平成29年6月	平成29年7月	平成29年8月	平成29年9月	平成29年10月	平成29年11月	平成29年12月	平成30年1～2月	平成30年3月
【環境保全措置】 平成28年4月18日に播種し、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
	プランターからポットへの植え替えを行う。No.①(左)は展葉が始まり、No.②(右)は冬芽が膨らむ。	No.①(左)樹高6.5cm、根元直径3mm No.②(右)樹高5.0cm、根元直径2mm ともに展葉が進んでいる。	No.①(左)樹高9.5cm、根元直径4mm No.②(右)樹高8.0cm、根元直径2mm ともに順調に展葉が進んでいる。	No.①(左)樹高11.5cm、根元直径4mm No.②(右)樹高12.0cm、根元直径3mm ともに生育は順調。	No.①(左)樹高12.0cm、根元直径4mm No.②(右)樹高12.0cm、根元直径3mm ともに生育は順調。	No.①(左)樹高12.0cm、根元直径4mm No.②(右)樹高12.0cm、根元直径3mm ともに生育は順調。	No.①(左)樹高12.0cm、根元直径4mm No.②(右)樹高12.0cm、根元直径3mm ともに落葉中。	No.①(左)樹高12.0cm、根元直径4mm No.②(右)樹高12.0cm、根元直径3mm ともに落葉し、冬芽形成。	No.①(左)樹高12.0cm、根元直径4mm No.②(右)樹高12.0cm、根元直径3mm ともに落葉し、冬芽形成。		
	撮影日:4月21日	撮影日:5月9日	撮影日:6月6日	撮影日:7月11日	撮影日:8月24日	撮影日:9月8日	撮影日:10月17日	撮影日:11月14日	撮影日:12月8日		

平成29年度 新クリーンセンター環境影響評価事後調査(動物・植物)業務 環境保全措置および事後調査の経過一覧表
 対象種【ヤエガワカンバ】

対象期間【平成29年4月～平成29年12月】

【措置項目】種子の保存及び播種・育苗

環境保全措置・事後調査の内容	平成29年4月	平成29年5月	平成29年6月	平成29年7月	平成29年8月	平成29年9月	平成29年10月	平成29年11月	平成29年12月	平成30年1～2月	平成30年3月
【環境保全措置】平成29年4月21日にプランターへ播種し、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
	冷凍保存の残りの種子をプランターへ播種した。	発芽は確認できない。	発芽は確認できない。	1個体の発芽を確認。樹高3.0cm、根元直径1mm	1個体が生育。樹高7.0cm、根元直径2mm	1個体が生育。樹高8.0cm、根元直径2mm 下の一枚の本葉が枯れる。	1個体が生育。樹高8.0cm、根元直径2mm 落葉中。	1個体が生育。樹高8.0cm、根元直径3mm 落葉中。	1個体が生育。樹高8.0cm、根元直径3mm 落葉中。		
	撮影日:4月21日	撮影日:5月9日	撮影日:6月6日	撮影日:7月11日	撮影日:8月24日	撮影日:9月8日	撮影日:10月17日	撮影日:11月14日	撮影日:12月8日		

【措置項目】種子の保存及び播種・育苗

環境保全措置・事後調査の内容	平成29年4月	平成29年5月	平成29年6月	平成29年7月	平成29年8月	平成29年9月	平成29年10月	平成29年11月	平成29年12月	平成30年1～2月	平成30年3月
【環境保全措置】平成29年4月21日に床蒔きし、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
	冷凍保存の残りの種子を床蒔きした。	発芽は確認できない。	発芽は確認できない。	発芽は確認できない。	発芽は確認できない。	発芽は確認できない。	発芽は確認できない。	発芽は確認できない。	発芽は確認できない。		
	撮影日:4月21日	撮影日:5月9日	撮影日:6月6日	撮影日:7月11日	撮影日:8月24日	撮影日:9月8日	撮影日:10月17日	撮影日:11月14日	撮影日:12月8日		









平成29年度 新クリーンセンター環境影響評価事後調査(動物・植物)業務 環境保全措置および事後調査の経過一覧表 対象種【オニヒョウタンボク】

対象期間【平成29年4月～平成29年12月】










【環境保全措置および事後調査の総括】

移植した成木については生育は概ね順調である。播種育苗についてはプランターとポットで4個体が生育し、床蒔きは発芽が確認できない。挿し木については発根促進剤を使用した挿し木が13本生育し、11月17日にポットへ移し替えた。(平成29年12月8日現在)

【措置項目】成木の移植

環境保全措置・事後調査の内容	平成29年4月	平成29年5月	平成29年6月	平成29年7月	平成29年8月	平成29年9月	平成29年10月	平成29年11月	平成29年12月	平成30年1～2月	平成30年3月
【事後調査】 平成27年4月20日に対象事業実施区域内より対象事業実施区域外へ移植を行い、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
	全ての個体(No.①～No.⑧)で冬芽が膨らんでいた。	全ての個体で順調に展葉が進んでいた。	全ての個体で十分に展葉し、結実しているが少ない。一部の葉に虫食いが見られる。6月27日に成熟した果実を20個採取した。	全ての個体で十分に展葉し、採取せずに残しておいた果実も残っていた。一部の葉に虫食いが見られ、フジが巻き付いていたためフジの根元を切断した。	全ての個体で十分に展葉した。一部の葉に虫食いが見られる。	全ての個体で黄葉が始まり、一部の葉に虫食いが見られる。	全ての個体で落葉が進み、冬芽の形成が見られる。	全ての個体で落葉し、冬芽を形成した。	全ての個体で落葉し、冬芽を形成した。平成28年6月に主幹が折れたNo.⑧は、以降のモニタリングで異常は見られず、順調に生育している。		
	撮影日:4月12日	撮影日:5月2日	撮影日:6月6日	撮影日:7月11日	撮影日:8月23日	撮影日:9月8日	撮影日:10月17日	撮影日:11月14日	撮影日:12月8日		

【措置項目】種子の保存及び播種・育苗

環境保全措置・事後調査の内容	平成29年4月	平成29年5月	平成29年6月	平成29年7月	平成29年8月	平成29年9月	平成29年10月	平成29年11月	平成29年12月	平成30年1～2月	平成30年3月
【環境保全措置】 平成27年7月15日にプランターへ播種し、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
	実生は2個体(H28年11月4日時点では5個体であったが3個体減少した)。	実生2個体をポットへ移し替えた。No.①(左)の樹高は5.0cm、根元直径2mm。No.②(右)の樹高は2.5cm、根元直径1mm。	No.①(左)の樹高は6.0cm、根元直径2mm。No.②(右)の樹高は2.5cm、根元直径1mm。	No.①(左)の樹高は7.0cm、根元直径2mm。No.②(右)は枯死。	No.①(左)の樹高は7.0cm、根元直径2mm。No.②(右)は枯死。	No.①(左)の樹高は4.0cm(落葉)、根元直径4mm。No.②(右)は枯死。	No.①(左)の樹高は5.0cm(冬芽形成)、根元直径4mm。No.②(右)は枯死。	No.①(左)の樹高は5.0cm(冬芽形成)、根元直径4mm。No.②(右)は枯死。	No.①(左)の樹高は5.0cm(冬芽形成)、根元直径4mm。No.②(右)は枯死。		
	撮影日:4月12日	撮影日:5月9日	撮影日:6月6日	撮影日:7月11日	撮影日:8月24日	撮影日:9月8日	撮影日:10月17日	撮影日:11月14日	撮影日:12月8日		

【措置項目】種子の保存及び播種・育苗

環境保全措置・事後調査の内容	平成29年4月	平成29年5月	平成29年6月	平成29年7月	平成29年8月	平成29年9月	平成29年10月	平成29年11月	平成29年12月	平成30年1～2月	平成30年3月
【環境保全措置】 平成27年7月15日に床蒔きし、以降、生育状況のモニタリングを実施。 平成29年6月29日に新たに種子を20個播種。											
	発芽は確認できない。	発芽は確認できない。	発芽は確認できない。移植した成木から6月14日に新たに採取した果実20個から種子40個を取り出し、6月29日に20個をプランターに播種、20個を床蒔きした。	発芽は確認できない。	発芽は確認できない。	発芽は確認できない。	発芽は確認できない。	発芽は確認できない。	発芽は確認できない。	発芽は確認できない。	
	撮影日:4月12日	撮影日:5月9日	撮影日:6月6日	撮影日:7月11日	撮影日:8月24日	撮影日:9月8日	撮影日:10月17日	撮影日:11月14日	撮影日:12月8日		

平成29年度 新クリーンセンター環境影響評価事後調査(動物・植物)業務 環境保全措置および事後調査の経過一覧表
 対象種【オニヒョウタンボク】

対象期間【平成29年4月～平成29年12月】

【措置項目】種子の保存及び播種・育苗

環境保全措置・事後調査の内容	平成29年4月	平成29年5月	平成29年6月	平成29年7月	平成29年8月	平成29年9月	平成29年10月	平成29年11月	平成29年12月	平成30年1～2月	平成30年3月
【環境保全措置】平成28年7月6日にプランターへ播種し、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
	発芽は確認できない。	発芽は確認できない。	発芽は確認できない。	発芽は確認できない。	発芽は確認できない。	発芽は確認できない。	発芽は確認できない。	発芽は確認できない。	発芽は確認できない。		
	撮影日:4月12日	撮影日:5月9日	撮影日:6月6日	撮影日:7月11日	撮影日:8月24日	撮影日:9月8日	撮影日:10月17日	撮影日:11月14日	撮影日:12月8日		

【措置項目】種子の保存及び播種・育苗

環境保全措置・事後調査の内容	平成29年4月	平成29年5月	平成29年6月	平成29年7月	平成29年8月	平成29年9月	平成29年10月	平成29年11月	平成29年12月	平成30年1～2月	平成30年3月
【環境保全措置】平成29年6月29日に新たに種子20個をプランターに播種。											
			移植した成木から6月14日に新たに採取した果実20個から種子40個を取り出し、6月29日に20個をプランターに播種、20個を床蒔きした。	発芽は確認できない。	発芽は確認できない。	発芽は確認できない。	2個体発芽(双葉)を確認。	3個体発芽(双葉)を確認(1個体増)。	11月17日にポットへ移し替えを行った。3個体とも双葉であり、No.1は弱っている。		
			撮影日:6月29日	撮影日:7月11日	撮影日:8月24日	撮影日:9月8日	撮影日:10月17日	撮影日:11月14日	撮影日:12月8日		










【措置項目】挿し木及び生育管理

環境保全措置・事後調査の内容	平成29年4月	平成29年5月	平成29年6月	平成29年7月	平成29年8月	平成29年9月	平成29年10月	平成29年11月	平成29年12月	平成30年1～2月	平成30年3月
【環境保全措置】平成28年3月30日に10本を挿し木し、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
	芽吹きは確認できない。	芽吹きは確認できない。	全て枯死した。	全て枯死。	全て枯死。	全て枯死。	全て枯死。	全て枯死。	全て枯死。		
	撮影日:4月12日	撮影日:5月9日	撮影日:6月6日	撮影日:7月11日	撮影日:8月24日	撮影日:9月8日	撮影日:10月17日	撮影日:11月14日	撮影日:12月8日		

平成29年度 新クリーンセンター環境影響評価事後調査(動物・植物)業務 環境保全措置および事後調査の経過一覧表
 対象種【オニヒョウタンボク】

対象期間【平成29年4月～平成29年12月】

【措置項目】挿し木及び生育管理

環境保全措置・事後調査の内容	平成29年4月	平成29年5月	平成29年6月	平成29年7月	平成29年8月	平成29年9月	平成29年10月	平成29年11月	平成29年12月	平成30年1～2月	平成30年3月
【環境保全措置】 平成29年3月14日に20本を挿し木し(発根促進剤使用)、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
	20本全てに芽吹きを確認。	20本の内、15本に展葉を確認。	20本の内、12本が展葉。3本が落葉。	20本の内、13本が展葉(1本増加)。	20本の内、13本が展葉(増減無し)。	20本の内、13本が展葉(増減無し)。一部に冬芽形成。	20本の内、13本が生育し、全てが落葉、冬芽形成。	20本の内、13本が生育し、全てが落葉、冬芽形成。11月17日に生育している13本をポットへ移植した。	20本の内、13本が生育し、全てが落葉、冬芽形成。		
	撮影日:4月12日	撮影日:5月9日	撮影日:6月6日	撮影日:7月11日	撮影日:8月24日	撮影日:9月8日	撮影日:10月17日	撮影日:11月14日	撮影日:12月8日		

平成29年度 新クリーンセンター環境影響評価事後調査(動物・植物)業務 環境保全措置および事後調査の経過一覧表 対象種【ベニモンマダラ(クサフジ)】

対象期間【平成29年4月～平成29年12月】









【環境保全措置および事後調査の総括】

発芽促進のため種子にやすりをかけて播種したポット(計30ポット)から5個体、やすりをかけずに播種したポット(計30ポット)から4個体の発芽(2個体は枯死した可能性あり)。11月14日に生存している7個体と枯死した可能性のある2個体をベニモンマダラ移殖先の平尾用水法面へ移植した。(平成29年12月8日現在)

【措置項目】生息基盤の移植

環境保全措置・事後調査の内容	平成29年4月	平成29年5月	平成29年6月	平成29年7月	平成29年8月	平成29年9月	平成29年10月	平成29年11月	平成29年12月	平成30年1～2月	平成30年3月
【環境保全措置】平成28年12月5日にクサフジの種子を播種し、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
白いポット: 種子にやすりをかけて播種(20ポット) 黒いポット: 種子にやすりをかけずに播種(20ポット)	発芽は確認できない。	発芽は確認できない。	発芽促進のため種子にやすりをかけて播種した20ポット(白いポット)から1個体、やすりをかけずに播種した20ポット(黒いポット)から1個体の発芽確認。	発芽促進のため種子にやすりをかけて播種した20ポット(白いポット)から3個体、やすりをかけずに播種した20ポット(黒いポット)から2個体の発芽確認したが、それぞれ1個体枯死。	発芽促進のため種子にやすりをかけて播種した20ポット(白いポット)から4個体(2個体増加)、やすりをかけずに播種した20ポット(黒いポット)から1個体の発芽(増減無し)。	発芽促進のため種子にやすりをかけて播種した20ポット(白いポット)から5個体(1個体増加)、やすりをかけずに播種した20ポット(黒いポット)から2個体の発芽(1個体増加)。	発芽促進のため種子にやすりをかけて播種した20ポット(白いポット)から5個体(増減無し)、やすりをかけずに播種した20ポット(黒いポット)から2個体の発芽(増減無し)。	生存している7個体および枯死した可能性のある1個体を平尾用水法面へ移植した。	11月14日に移植したクサフジは休眠期に入り、地上部は枯れていた。		
	撮影日: 4月12日	撮影日: 5月9日	撮影日: 6月6日	撮影日: 7月11日	撮影日: 8月24日	撮影日: 9月8日	撮影日: 10月17日	撮影日: 11月14日	撮影日: 12月8日		

【措置項目】生息基盤の移植

環境保全措置・事後調査の内容	平成29年4月	平成29年5月	平成29年6月	平成29年7月	平成29年8月	平成29年9月	平成29年10月	平成29年11月	平成29年12月	平成30年1～2月	平成30年3月
【環境保全措置】平成29年4月12日にクサフジの種子を播種し、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
白いポット: 種子にやすりをかけて播種(10ポット) 黒いポット: 種子にやすりをかけずに播種(10ポット)	播種を実施。	発芽は確認できない。	発芽促進のため種子にやすりをかけて播種した10ポット(白いポット)からは発芽は見られないが、やすりをかけずに播種した10ポット(黒いポット)から1個体の発芽確認。	発芽促進のため種子にやすりをかけて播種した10ポット(白いポット)からは発芽は見られないが、やすりをかけずに播種した10ポット(黒いポット)から1個体の発芽(増減無し)。	発芽促進のため種子にやすりをかけて播種した10ポット(白いポット)からは発芽は見られないが、やすりをかけずに播種した10ポット(黒いポット)から1個体の発芽(増減無し)。	発芽促進のため種子にやすりをかけて播種した10ポット(白いポット)からは発芽は見られないが、やすりをかけずに播種した10ポット(黒いポット)から1個体の発芽(増減無し)。	発芽促進のため種子にやすりをかけて播種した10ポット(白いポット)からは発芽は見られない。やすりをかけずに播種した10ポット(黒いポット)から発芽した1個体は葉が無く、枯死した可能性あり。	枯死した可能性のある1個体を平尾用水法面へ移植した。			
	撮影日: 4月12日	撮影日: 5月9日	撮影日: 6月6日	撮影日: 7月11日	撮影日: 8月24日	撮影日: 9月8日	撮影日: 10月17日	撮影日: 11月14日			

◆施工状況等報告書添付資料「対象事業の実施状況一覧表」

1. 新クリーンセンター整備スケジュール(案)

区分	平成26年度				平成27年度				平成28年度				平成29年度				平成30年度				平成31年度				平成32年度																												
	4	6	8	10	12	2	4	6	8	10	12	2	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	6	8	10	12	2	4	6	8	10	12	2	4	6	8	10	12
環境影響評価 手続	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	
都市計画決定 手続等					★	★	★	★	★	★	★	★																																									
施設用地造成 工事									★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★					
施設本体建設 工事	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★					

2. 対象事業の実施状況一覧

年 度 回 数 報告対象期	平成27年度				平成28年度			
	第1回報告 4月～6月	第2回報告 7月～9月	第3回報告 10月～12月	第4回報告 1月～3月	第5回報告 4月～6月	第6回報告 7月～9月	第7回報告 10月～12月	第8回報告 1月～3月
実施状況	現在、造成工事等については、未着手である。 【都市計画決定手続】平成27年7月8日付けで本事業に係る都市計画が決定。 【敷地造成工事】造成計画の精査を実施。また、造成工事費の積算を行っている。	現在、造成工事等については、未着手である。 【用地取得に係る税務署事前協議】平成27年8月19日付けで本事業に係る用地取得のための税務署事前協議を開始。 【敷地造成工事】造成計画の精査を実施。また、造成工事費の積算を行っている。	現在、造成工事等については、未着手である。 【用地取得関係】平成27年11月26日付けで本事業に係る用地取得のための税務署事前協議が完了。法人及び個人地権者と用地取得に係る契約を締結し、用地取得手続が概ね完了している。 【敷地造成工事】造成工事費の積算を行い、精査を実施している。	現在、造成工事等については、未着手である。 【敷地造成工事】平成28年3月14日付けで入札公告、同3月30日に入札が行われた。残土運搬先について、該当する個人地権者へ説明。一部から了承を得られた。 【施設本体建設工事】平成28年3月14日付けで入札公告、参加表明締切を同4月28日に予定している。	平成28年6月6日、敷地造成工事に着手した。同日付で「対象事業着手報告書」を県へ提出した。 【敷地造成工事】6月は準備工として、敷地内の伐採と測量作業を行った。 【施設本体建設工事】平成28年4月28日付けで入札参加表明を締切し、同6月27日付で提案書の提出を受けた。	建設予定地では、敷地造成工事が行われている。 【敷地造成工事】敷地の掘削を開始した。管渠工事が完了した。 【施設本体建設工事】平成28年8月9日に開札及び総合評価を実施した。同9月1日、落札者決定について公表した。	建設予定地では、敷地造成工事が行われている。 【敷地造成工事】掘削が続いている。 【施設本体建設工事】平成28年10月25日建設請負契約を締結。実施設計協議を開始した。	建設予定地では、敷地造成工事が行われている。 【敷地造成工事】テールアルメ擁壁の地盤改良の準備を進め、開始した。 【施設本体建設工事】実施設計協議を継続中。
年 度 回 数 報告対象期	平成29年度				平成30年度			
	第9回報告 4月～6月	第10回報告 7月～9月	第11回報告 10月～12月	第12回報告 1月～3月	第13回報告 4月～6月	第14回報告 7月～9月	第15回報告 10月～12月	
実施状況	建設予定地では、敷地造成工事が行われている。 【敷地造成工事】テールアルメ擁壁の地盤改良を終え、擁壁本体の施工に着手した。 【施設本体建設工事】実施設計協議を継続中。 【植栽工事】隣接地との境界へ植樹を開始した。	建設予定地では、敷地造成工事が行われている。 【敷地造成工事】テールアルメ擁壁の一部が、最上段まで積み上がった。ブロック積工及び法面工に着手した。 【施設本体建設工事】実施設計協議を継続中。 【植栽工事】隣接地との境界への植樹が完了した。	建設予定地では、敷地造成工事が行われている。 【敷地造成工事】テールアルメ擁壁が完成し、敷地造成工事は、わずかな排水路工事を残すのみとなった。 【施設本体建設工事】実施設計協議を継続中。平成29年12月8日に建築確認の申請を行った。					